

第6回（平成30年度第1回）南箕輪村むらづくり委員会会議次第

平成30年4月26日（木）
午後7時～
村民センター2階大会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

① 平成30年度のスケジュールについて

② 村創生総合戦略（交付金事業）の検証について

③ その他

4. その他

次回会議日程 月 日（ ） 時から

5. 閉 会

平成30年度のスケジュールについて

会議資料1

年度	平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度					
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12			
地方創生関連 交付金の検証	・加速化交付金事業 ・平成28年度推進交付 金事業				・平成29年度推進交付 金事業 ・拠点整備交付金事業				平成30年度推進 交付金事業				平成31年度推進 交付金事業					
村創生総合戦 略の検証、見直 しの検討	済				村創生総合戦略 の検証				村創生総合戦略 の検証				任期 終了			第2期村創生 総合戦略の 検証		
【新】 第2期村創生総 合戦略の策定 に向けた検討					第2期村創生総 合戦略の検討				第2期村創生総合戦略の検討・答申							第2期村創生総合戦略		
村第5次総合計 画後期基本計 画の策定に向 けた検討					第5次総合計画 前期基本計画 の検証				第5次総合計画後期基本計画の策定 に向けた検討				第5次総合計 画後期基本 計画の策定に 向けた検討					

1. 主な検討事項

- ・村創生総合戦略の検証及び見直し
- ・村創生総合戦略に基づき実施した事業の効果検証
(地方創生加速化交付金事業、地方創生推進交付金事業、地方創生拠点整備交付金事業)
- ・**第2期村創生総合戦略の策定・答申(計画期間：平成32年度～平成36年度(予定))**
- ・村第5次総合計画後期基本計画(計画期間：平成33年度～平成37年度)の検討

2. スケジュール予定

- 平成30年4月～6月
 - ・平成29年度地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金事業の検証
- 平成30年7月～9月
 - ・村創生総合戦略の検証
- 平成30年10月～
 - ・村第5次総合計画前期基本計画の検証
- 平成31年度～
 - ・村第2期創生総合戦略の策定に向けた検討
 - ・村第5次総合計画後期基本計画の策定に向けた検討
- 平成32年4月
 - ・村第2期創生総合戦略の策定に向けた検討
- 平成32年5月
 - ・平成30年度地方創生推進交付金事業の検証
- 任期終了

1. 平成29年度地方創生関連事業の検証について

南箕輪村の創生総合戦略の基本的な考え方

- (1) 将来の南箕輪村の人口が減少に転じる時期を遅延させる取り組み
- (2) 南箕輪村におけるまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

地方創生関連事業については、すべて村の創生総合戦略に基づいて実施しています。

平成29年度については、28年度に引き続き、「子育て女性の支援」、「移住定住対策」への取り組みを行い、大芝高原を軸とした「南箕輪村の魅力開発とブランドづくり」に向けての体制整備（主に施設整備）事業を行いました。

各事業について指標及び実績値を示し、事業実施後の村の評価を4段階で表しています。

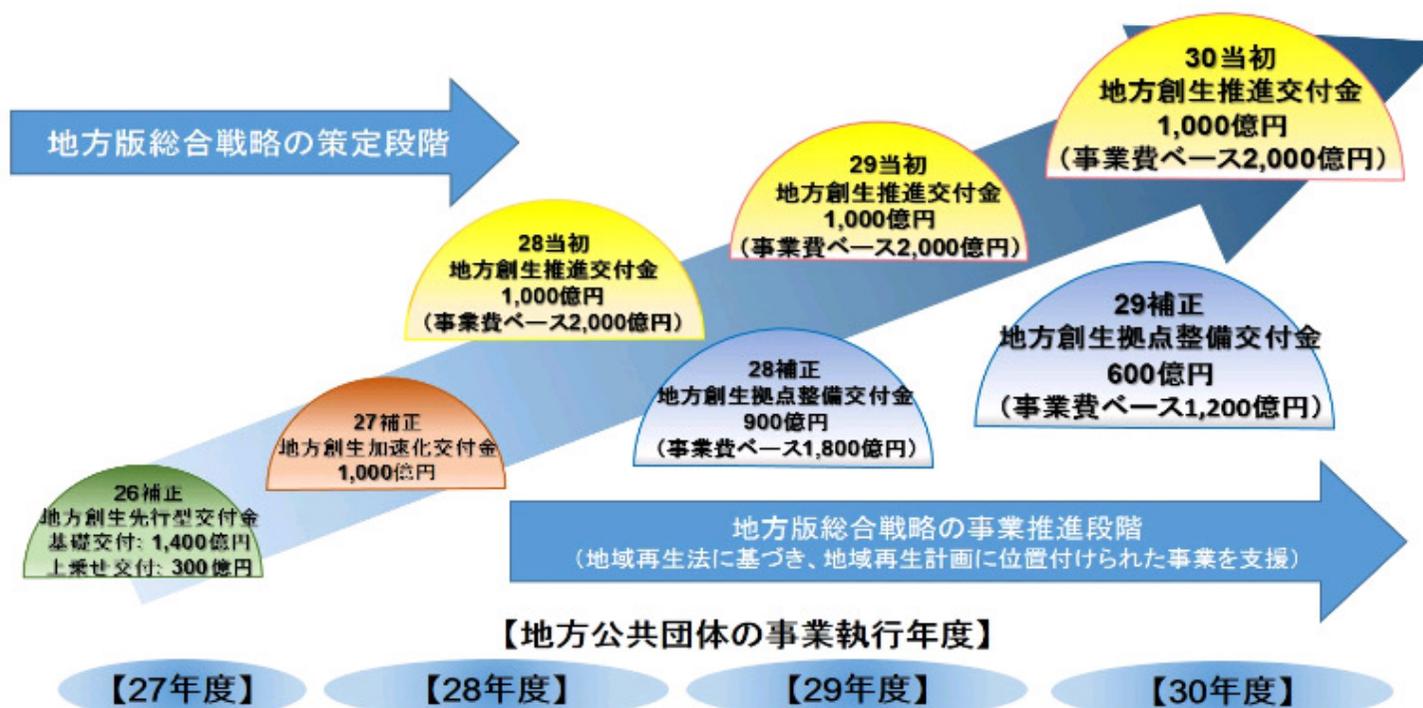
なお、主に施設整備事業については平成30年度以降に評価指標を設定しているため、29年度には指標値の設定がありませんが、各事業のKPIを達成するための施設整備ですので、現段階ではすべて下記②「地方創生に効果があった」としています。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に効果があった
- ③地方創生に効果がなかった
- ④現時点では効果測定できず

地方創生関係交付金

地方創生関係交付金の概要（イメージ）

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



南箕輪村の交付金の活用状況(平成28・29・30年度)

交付金	28年度	29年度	30年度
地方創生 推進 交付金	社会で活躍しながら子育てできるむらに！「子育て女性再就職トータルサポート事業」		
		信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業 (広域連携事業)	
		大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」	
地方創生 拠点整備 交付金		大芝高原味工房 魅カアッププロジェクト	
		人口増・子育て女性応援の村、 南原保育園施設整備計画	
		大芝高原「楽・わく・健康ス ペース」屋内運動場整備計画	
地方創生 加速化 交付金	「信州・上伊那」の 地域力向上推進事業		
	中央アルプスジオパーク構想を活 用した観光地域づくり連携事業		
	「ライトに農業を」「地元回 帰」層をターゲットにした 人口定着事業（2事業を実施）		



南箕輪村の交付金の活用状況(平成29年度)

※総事業費には補助対象外経費も含まれるため、補助額が1/2ではない事業もあります。

交付金	名称	事業概要	総事業費	補助額
地方創生 推進交付 金(補助 率1/2)	社会で活躍しながら子育て できるむらに!「子育て女 性再就職トータルサポー ト」事業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性就業支援トータルアドバイザー 設置 ・就職前の準備セミナー開催 ・就職前後のサポートプログラム実施 	11,010,600円	5,505,300円
	信州伊那谷で暮らしやすさ 日本一を目指す事業 (広域連携事業)	若者回帰・定住増進支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業バスツアー ・保護者向け就活セミナーほか 	3,909,779円	1,790,896円
	大芝高原「健康と癒しのオ アシスプロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> ・大芝高原健康コンシェルジュ設置 ・健康づくりメニュー多様化備品 ・味工房備品 ほか 	17,950,178円	5,875,089円
	計			32,870,557円
地方創生 拠点整備 交付金 (補助率 1/2)	大芝高原味工房 魅力アッププロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・大芝高原味工房改修事業 	139,859,400円	69,929,700円
	人口増・子育て女性応援の村、 南原保育園施設整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・南原保育園増改築事業 	92,588,400円	46,294,200円
	大芝高原「楽・わく・健康 スペース」 屋内運動場整備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場増改築事業 	147,668,400円	50,000,000円 (競技場等の 補助上限額)
	計			380,116,200円

社会で活躍しながら子育てできるむらに！ ”子育て女性再就職トータルサポート”事業

南箕輪村
平成28年9月～平成31年3月

事業の目的

女性の就業に関するニーズの把握、相談やスキルアップ講座、また実際の企業とのマッチングなど総合的な支援を実施するための環境、子どもを育てながら様々な働き方ができる環境を整備し、「子育て」と「仕事」の両輪を回すことで「女性が活躍しながら子育てできるむらづくり」を推進し、地域の働き手の増加、出生者数の増加につなげる。

H29事業の概要及び実施内容

充実した子育て環境を活用した、子育てと就業支援を連動させた事業展開を図る。

<女性就業支援トータルアドバイザー設置>

- ・本格的な就業準備の前に、子育てと仕事のバランスなど全般的に相談できる「女性就業支援アドバイザー」を設置
- ・再就職にかかるニーズを個別に把握し、ニーズに合った就業形態を斡旋するなどケースごとにきめ細やかな支援を実施
- ・常駐相談室を設けるほか、「すくすくはうす」等子育て交流施設にも出向いてPR

<就職前の準備セミナー開催>

- ・子育てや自分の生活スタイルに適合した働き方について考えてもらうためのセミナーや、働きながら子育てをしている先輩ママたちとの交流会を実施。

<就職前後のサポートプログラム実施>

- ・マナーや履歴書・資料作成指導などサポートプログラムを実施
- ・育児期間のブランクや未経験職種への対策として、実際の企業ヘイインターンシップ体験を実施
- ・実際に就業した女性に対し、就業後の様子をフォローするなど、アフターケアを実施



村創生総合戦略

- (1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり
- (3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり
- 施策③ 移住者や女性の就業支援

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
就労情報へのアクセス数	—	18,000件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	2回/年

信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業 (広域連携事業)

伊那市・箕輪町・南箕輪村・宮田村
平成29年6月～平成30年3月

事業の目的

上伊那の市町村が連携し、移住・定住先として選ばれるため「暮らしやすさ」・「自然の素晴らしさ」を伝え、向上させていく取り組みを行うことで、これからの上伊那地域の産業の担い手の確保、人口減少社会における人口減少の抑制を目指す。

事業の概要及び実施内容

上伊那4市町村の連携により、以下の移住対策等を実施する。

- ①暮らしやすさを伝えるため、「職住が近接し、買い物も含めた生活に便利な地域」、「2つのアルプスの間に生まれた自然を体感できる生活」といった田舎過ぎず都会過ぎない生活情報の提供
- ②製造業を中心とした伊那地域における将来の働く場所の確保を目指した産業振興とそれに必要な人材の確保

○南箕輪村における事業

- ・進学を機に地元を離れた若者の地元回帰事業及びキャリア教育推進事業を実施
具体的には、地元企業バスツアー、保護者向け就活セミナー、地元企業採用担当者向けセミナー
キャリア教育推進コーディネーター設置



(地元企業バスツアー)



(南箕輪で働く人を紹介)

村創生総合戦略

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり

- 施策① 製造品出荷額（4人以上事業所）
- 施策③ 移住者や女性の就業支援

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

- 施策② 村内移住・定住・若者回帰の推進

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
製造品出荷額（4人以上事業所）	596億7,573万円	627億円
就労情報へのアクセス数	—	18,000件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	2回/年
移住、定住情報へのアクセスユーザー数	—	5,000ユーザー/年

29年度の実施内容

【若者回帰・定住増進支援事業】

内容	日時	場所	参加者数
保護者向けセミナー	平成29年12月16日	いなっせ3階	50名
地元企業採用担当者向けセミナー	平成30年2月22日	村民センター	13名
地元企業バスツアー(宮田村共催)	平成30年3月9日	上伊那企業24社	35名

その他、WEBサイト運営

— 今こそ「採用力をUP!」 —
採用力改善講座

本講座のねらい
環境世代の離脱、少子高齢化による人材不足が深刻な現状を踏まえ、雇用確保が求められるにむけて、企業の人材不足を克服するためのノウハウを伝授し、採用力向上の重要性を認識し、採用活動の改善を図ることを目的とする。

本講座では、これからの労働市場を踏まえ、企業の人材確保に必要となる最新の採用ノウハウを伝授し、採用活動の改善を図ることを目的とする。

南箕輪村民センター
2階会議室 | 上伊那郡南箕輪村南箕輪4825-1
2018年2月22日 木曜日
14:00-16:30 開場 13:45
募集定員: 30名 | 事前申込 (先着優先)

講師
福盛 二郎
Jiro Fukunaga

お問い合わせ
0120-640-234 | kami-ina.jp

いくぜ上伊那

3.8上伊那就活-9バスツアー

無料乗車バスが出ます! 伊那の魅力を満喫しよう!

申し込みは、上伊那郡企業説明会(仮) 事務局(仮)まで

申込期間: 2019年10月19日(土) 10:00~11:00

申込方法: 企業見学ツアー(仮)の申し込み書(仮)を提出してください。

申込料: 3,190円(税込)

主催: 南箕輪村・南箕輪町

古里就職を選択肢に

南箕輪村が保護者向けセミナー

南箕輪村は16日、保護者向け「就職サポート」を兼ねた就職セミナーを伊那市のいなっせ3階で開催した。保護者から「地元企業で就職させる」という声が多く、古里就職を選択肢に加えてもらうよう情報提供を求めた。近年の就職活動事情を踏まえ、保護者が地元企業を知り、地元で働くことのメリットやデメリットを知り、具体的な就職活動を進めようとする。セミナーは、進んで古里を離れた若者が地元に再び戻って就職活動をする機会を創出する。セミナーは、進んで古里を離れた若者が地元に再び戻って就職活動をする機会を創出する。セミナーは、進んで古里を離れた若者が地元に再び戻って就職活動をする機会を創出する。



【キャリア教育推進コーディネーター設置】

【キャリア教育とは】
キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育です。

キャリア教育が目指すもの

- 一人一人のキャリア発達を支援します。
- 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます。
- 将来の社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てます。
- 望ましい勤労観・職業観を育てます。

指標、実績値及び村の評価

※各指標値は、年間の増加分

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	現状	H29	H30	H31
4市町村の社会増減数 (年間)		+70人	+87人	+104人
実績値 (H27)	-60人	未		
4市町村の製造品出荷額等 (百万円)		1,500	1,500	1,500
実績値 (H26)	402,039	未		

②地方創生に効果があった

社会増減数指標は、県発表毎月人口移動調査5月～4月を測定。H29.5月～H30.3月は+436人。4月に例年多くの転出(H29.4は-288人)があるため数値は減少すると思われるが、各市町村の取り組みにより、社会増は増えてきている。

大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」

南箕輪村
平成29年11月～平成32年3月

事業の目的

地域再生計画「南箕輪村大芝高原ブランド化（道の駅構想）計画」に基づき、「健康と癒し」をテーマに観光交流人口の増加及び村民の健康増進につながる取り組みを実施する。

事業の概要及び実施内容

事業概要：「大芝高原健康コンシェルジュ（案内人）」を設置し、いつでも高原内の各施設を利用した健康増進が図られる体制づくり。
「大芝高原セラピーロード」を活かした日帰りツアーや体験プランの実施

実施内容

- ・大芝高原健康コンシェルジュの設置（健康運動指導士など）—松本大学との連携
- ・南箕輪村健康ポイント（まっくん健康ポイント）と連携させた取り組み
- ・大芝高原をフィールドとした健康をテーマとする観光ツアーや体験プラン、湯治プラン等の検討
- ・大芝高原ならではの健康食（メニュー）づくり
- ・リニューアルする味工房を最大限活かす取り組み（多目的スペースを活用した健康料理教室や移住促進プログラムへの活用など）

対象：観光交流客及び住民

実施時期

- 1年目：案内人設置（健康運動指導士）
味工房設備購入
各種プランの検討
- 2年目：ツアー及び健康ポイント事業の実施
- 3年目：実績等を見ながらのさらなる事業展開

村創生総合戦略

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

29年度の実施内容

- ・受入体制準備期間としての位置づけ
健康コンシェルジュ設置費用、健康づくりメニュー多様化のための備品購入、味工房備品購入 等

施設整備（拠点整備交付金を活用）

(新)「健康・癒し」をテーマとしたプランの構築

1年目(H29)

味工場の改修事業



- ・食堂のカフェ化
- ・営業時間延長
- ・見えるパン工房
- ・多目的体験スペース
- ・直売所設置 等

・備品整備

屋内運動場改修事業



- ・健康講座や会議等もできる多目的室設置
- ・人工芝化
- ・避難所機能 等

・運動マット購入 ほか

整備する施設を有効活用するソフト事業の強化



- ・健康コンシェルジュの設置
- ・歩行分析機購入
- ・健康づくり情報掲示板設置 ほか

2年目以降

観光客向け

- ・健康ツアー、湯治プラン 等
- ・スポーツ合宿



大芝高原
健康
コンシェルジュ
(案内人)

村民向け

- ・セラピーロードや屋内運動場、ふれあいプラザ（歩行浴専用プール）などを活用した各種健康事業
- ・まっくん健康ポイント事業との連携
- ・観光客向けに開発された健康運動プランの住民への還元

指標、実績値及び村の評価

※各指標値は、年間の増加分

本事業における重要業績 評価指標 (KPI)	H29			H30			H31			
	H29	H30	H31	H29	H30	H31	H29	H30	H31	
大芝高原利用者数（延べ）	—	1,500人	1,500人	森の交流施設相談利用者数	—	500人	500人			
健康ツアー等参加者数	—	80人	160人	味工房売り上げ高	—	20,000千円	22,500千円			11

②地方創生に効果があった

大芝高原味工房魅力アッププロジェクト (味工房改修事業)

南箕輪村
平成29年3月～平成30年3月

事業の目的

村の魅力開発とブランドづくり施策として、最大の観光資源である大芝高原の活用推進に取り組む。その具体策として大芝高原の「道の駅」化、農業の6次産業化の出口である村特産品等の販売強化に取り組み、大芝高原の基幹施設である味工場の改修をそのきっかけとする。また、業務拡大に伴い子育て女性再就職事業とも連携し、昼間の短時間就労の場としても活用する。

事業の概要及び実施内容 (別添1参照)

- ・ガレット・ジェラート軽食等店舗改修
- ・パン工房改修、おやき工房改修、売店改修
- ・多目的体験室改修
- ・直売所増築
- ・事務所、味噌、漬物工場増築

村創生総合戦略

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たいむらづくり

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

指標、実績値及び村の評価

※各指標値は、年間の増加分

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	H29	H30	H31
大芝高原の利用者数 (延べ人数)	—	1,500人	1,500人
味工房売上高 (千円)	—	20,000千円	22,500千円
子育て女性新規雇用者数 (人/年)	—	10人	5人

②地方創生に効果があった

(地方創生拠点整備交付金) 29年度実績額 : 92,588,400円

人口増・子育て女性応援の村、 南原保育園施設整備計画

南箕輪村
平成29年6月～平成30年3月

事業の目的

南原保育園は、近年の人口増加により宅地化が進むエリアにある。転入者が多い地域であり、核家族化が進む中、保育園を増築するにあたり、多世代交流室を設け、地域ぐるみの保育、親を育て、支援する新たな保育園づくりを目指す。

事業の概要及び実施内容 (別添2参照)

- ・ 3部屋建築工事 (多世代交流室1、保育室2)
- ・ 給食室増築工事
- ・ 園庭整備工事 (遊具移設工事ほか)

村創生総合戦略

(3) 安心して子どもを産み育てることのできる
むらづくり

施策① 妊娠出産・子育て支援の充実 (重点施策)

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
合計特殊出生率	1.64	1.69
住民基本台帳人口	14,890人	15,323人

指標、実績値及び村の評価

※各指標値は、年間の増加分

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	H29	H30	H31
南原保育園園児数	—	20人	10人
村の人口 (住民基本台帳人口)	—	50人	50人
合計特殊出生率	—	0.02	0.02

②地方創生に効果があった

大芝高原「楽・わく・健康スペース」 屋内運動場整備計画

南箕輪村
平成29年6月～平成30年3月

事業の目的

村の魅力開発とブランドづくり施策として、最大の観光資源である大芝高原の活用推進に取り組む。健康・癒しの森に位置づけられた森林セラピーロードや各種スポーツ施設が揃うなか、雨天時や冬場でも利用できる屋内運動場を再整備し、新たな屋内スポーツ場としての需要喚起や観光イベントでの利用、有事の際には避難所にも利用できる多目的施設とする。

事業の概要及び実施内容（別添3参照）

- ・多目的室新設、更衣室新設、トイレ・倉庫増改築
- ・既存施設改修（非構造部材耐震改修、屋根・外壁等改修）
- ・人工芝設置

村創生総合戦略

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

指標、実績値及び村の評価

※各指標値は、年間の増加分

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	H29	H30	H31
大芝高原の利用者数 (延べ人数)	—	1,500人	1,500人
屋内運動場利用者数 (人/年間)	—	20,000人	22,500人
屋内運動場利用料 (円/年間)	—	100,000	200,000

②地方創生に効果があった

平成29年度地方創生交付金活用事業 KPI検証(H30.4.26 むらづくり委員会)

事業名	村の事業評価	むらづくり委員会の評価	
		事業評価	その他意見
地方創生推進交付金 (補助率 1/2)	社会で活躍しながら子育てできるむらに！「子育て女性再就職トータルサポート事業」	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
	信州伊那谷で暮らしやすさ日本一を目指す事業 (広域連携事業)	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
	大芝高原「健康と癒しのオアシスプロジェクト」	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
地方創生拠点整備交付金 (補助率 1/2)	大芝高原味工房魅力アッププロジェクト	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
	人口増・子育て女性応援の村、南原保育園施設整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
	大芝高原「楽・わく・健康スペース」屋内運動場整備計画	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない